



News Release

07-D-0156
2007年5月10日

新日鉄エンジニアリング株式会社 (証券コード：なし)

長期優先債務新規格付 : 「AA-」 (ダブルAマイナス)
格付けの見通し : 「ポジティブ」
国内CP新規格付 : 「J-1+」

株式会社日本格付研究所 (JCR) は、以下のとおり長期優先債務*及びコマーシャルペーパーの新規格付けをいたしましたのでお知らせします。

- * 長期優先債務格付けとは、債務者(発行体)の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。このうち、期限1年以内の債務に対する債務履行能力を評価したものを短期優先債務格付けと位置づけています。個別債務の評価(債券の格付け、ローンの格付け等)では、債務の契約内容、債務間の優先劣後関係、回収可能性の程度も考慮するため、個別債務の格付けが長期優先債務格付けと異なること(上回ること、または下回ること)もあります。

発行体：新日鉄エンジニアリング株式会社

【新規】

(対象)	(格付)	(見通し)
・長期優先債務	AA-	ポジティブ

(対象)	(発行限度額)	(バックアップライン)	(格付)
・コマーシャルペーパー	200億円	なし	J-1+

【格付事由】

(1) 新日本製鐵(以下、新日鉄)のエンジニアリング事業部門が06年7月に独立し設立された(出資比率100%)。分社後も新日鉄グループの中核会社の一つとして重要な位置にあり、この点を格付けに強く織り込んでいる。

(注) 文中、当社設立前における「当社」は、新日鉄のエンジニアリング事業セグメントを指す。

(2) 当社の事業は、製鉄プラント、環境ソリューション(廃棄物処理施設など)、海洋・エネルギー(海外石油・ガス開発など)、パイプライン、建築・鋼構造の5部門からなる。総じて足元の事業環境は良好であり、当社の受注残高も過去最高水準にある。全体に占める海外での事業の割合は、比較的低位にあり、カントリーリスク、為替リスクなどは相対的には小さいが、案件のリスク管理が非常に重要であることは同業他社とかわりない。

(3) 07/3期の売上高は3,680億円、営業利益は130億円と、近年では最高水準となった。現在の受注残高などを勘案すれば、今後も増収増益が見込まれる。ただ、利益率は、改善基調にあるとは言え、事業リスクに比し、いまだ低位と言わざるをえない。当社は、収益力の底上げのため、徹底した市場適合と集中をベースとした「トップ3戦略」を07年にスタートさせている。進捗状況を注視していく。

(4) 自己資本比率はやや低位にとどまるが、DERは1倍を切っているもようであり、財務構成に特に大きな問題はない。ただ、リスクバッファーとしての純資産の積み上げは必要と考える。

以上

(チーフアナリスト 山本 昇治・チーフアナリスト 濤岡 由典)

格付けは、信用すべき情報に基づいたJCRの意見の表明であり、その正確性、完全性、特定の目的への適合性等は一切保証されておりません。また、格付けは、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の売買・保有を推奨するものではありません。格付けは原則として発行者から対価を受領して行っております。

※無断コピー・転送は固くお断りします。

株式会社 **日本格付研究所**

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル

<情報提供電子メディア(検索コード)>

BLOOMBERG (和文:JCRA/英文:JCR) REUTERS (EJCRA)

QUICK (和文:QR/英文:QQ) JIJI PRESS 共同通信JLS

<お問い合わせ先>

TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026 担当: 情報・研修部

<http://www.jcr.co.jp>